

対面
オンライン
同時開催!!

NIVANMAR

震災から半年を
振り返る

ミャンマーで起きた地震

2025年3月28日、ミャンマー中部、第2の都市マンダレー近くでマグニチュード7.7の大きな地震がありました。被害状況は死者3,000人以上、負傷者4,500人以上、行方不明者350人以上（4月7日時点）、建物の被害は推定4万棟以上。

この企画では、「ミャンマーってどんな国?」「災害時、自分にできることは何だろう?」という問いを出発点に、現地の様子や文化をまず知ること、地震被害を「自分ごと」として考え、行動につなげることを目的としています。ミャンマーから日本に学びに来ている多くの留学生から話を聞き、対話を通して、今自分に何ができるのか、探してみませんか。

——ともに知り、ともに動く——

あなたの一歩が、被災地への支援とつながり、多文化共生社会を形作る力になります。

ファシリテーター



中嶋 圭介（なかしま けいすけ）
神戸市外国語大学国際関係学科准教授
米国戦略国際問題研究所(CSIS)地球高
齢化部での勤務を経て、2011年より現
職。専門は、人口減少・人口高齢化に
かかる公共政策課題。



神原 咲子（かんばら さきこ）
神戸市看護大学 基盤看護学 災害看護・国際
看護学 教授
高知県立大学教授等を経て、インドネシア・
ウダヤナ大学客員教授、(一社) EpiNurse代
表理事。研究テーマは、災害リスクに対する
認識を用いた合意形成と減災ケアの創出。

申込・お問合せ
はこちら



県下すべての大学によるすべての大学のための
一般社団法人 大学コンソーシアムひょうご神戸

【オンライン登壇（予定）】国連移住機関
UN International Organization for Migration : IOM

駐ミャンマー代表 望月 大平氏

（都合により、動画メッセージのみとなる場合がございます。）

慶應義塾大学卒業、米シラキューズ大学
行政大学院修了（国際関係学修士）。
NGO職員や外務省在外公館専門調査員を
経て、JPO試験に合格。IOMジンバブエ
事務所での勤務、ソマリア、イラクでの
緊急人道支援、ジュネーブ本部での政策
調整業務、駐日代表を経て、2025年8月
より現職。



もっと知りたい
ミャンマーのこと

2025年10月3日（金）

参加費無料 4:00pm - 6:00pm

使用言語：日本語（一部英語）定員：100名



詳細HP

プログラム

第1部：ミャンマーの今を知る

★流通科学大学 ミャンマー人留学生によるプレゼンテーション

★国連移住機関（IOM）駐ミャンマー代表 望月大平氏による現地レポート

第2部：私たちが動く

★神戸市看護大学 神原教授による現地レポート・看護の視点からのアドバイス

★京都大学大学院アジア・アフリカ地域研究科博士課程

Zar Zar Win Thein（ミャンマー）さんより発表

ミャンマー・ザガイン地域における地震後の地域住民を対象とした心理的支援と社会経済的評価

★学生・教職員・参加者によるクロストーク



ミャンマーのお菓
子ももらえます

対面・オンラインのハイブリッド開催です。お申込み
時に「参加方法」で「会場参加」「オンライン参加」
のいずれかをご選択ください。

会場：流通科学大学

詳細は申込後にメールでご案内します



主催：大学コンソーシアムひょうご神戸
共催：神戸市外国語大学
神戸市看護大学
流通科学大学

〒651-0072 兵庫県神戸市中央区脇浜町1丁目2-8 兵庫国際交流会館 1F

☎ Tel 078-271-0233

☎ Fax 078-271-0244

✉ Email info@consortium-hyogo.jp

💻 HP https://consortium-hyogo.jp/

